

東海地方の 2009 年(平成 21 年)の天候

天候の特徴

平均気温

年の前半は高温となり、特に 2 月と 5 月にはかなり高くなりましたが、後半は概ね平年並となりました。

降水量

9 月は記録的な少雨で、また 4 月には少なくなりましたが、他の月は平年並から多くなり、1 月は顕著な多雨となりました。

日照時間

7 月は顕著な寡照、また 11 月には少なくなりましたが、他の月は平年並が多くなり、4 月と 9 月が顕著な多照となりました。

雪

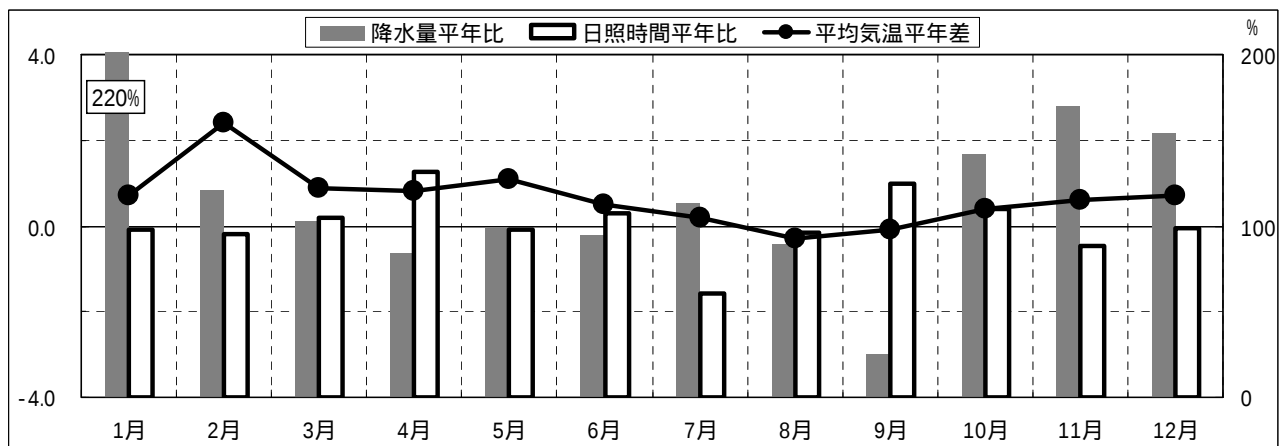
降雪量は各地とも平年を下回る状況が続き、特に高山では 2 月に平年を大幅に下回りました。

梅雨

梅雨入りは早く、梅雨明けがかなり遅くなりました。

東海地方平均とは、東海地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(14地点)の平年差・比を平均したものです。

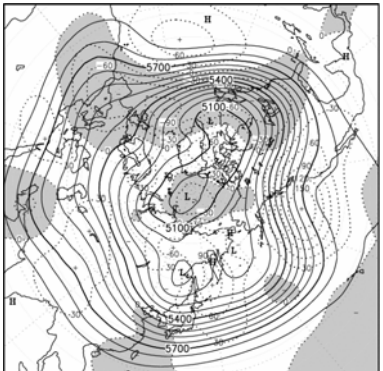
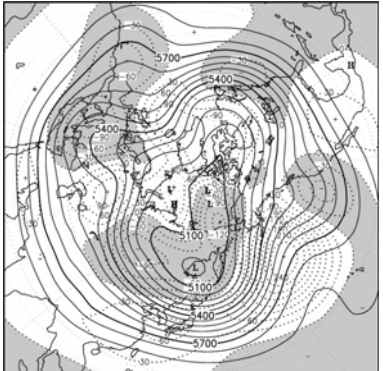
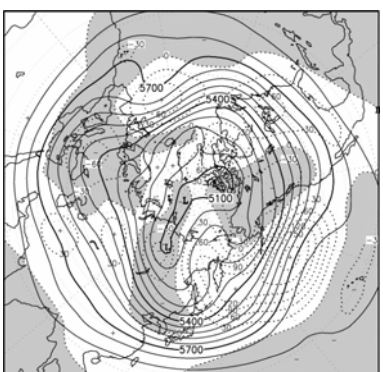
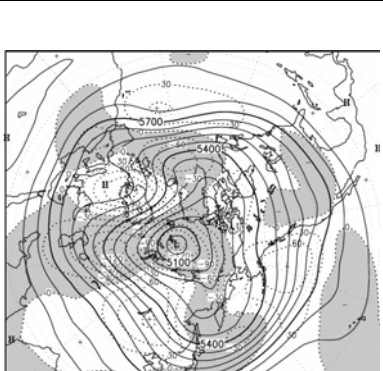
東海地方平均の月平均気温・月降水量・月間日照時間の平年差・比の推移

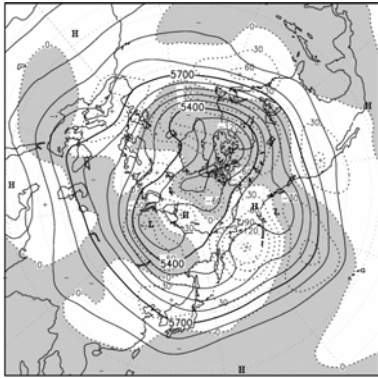
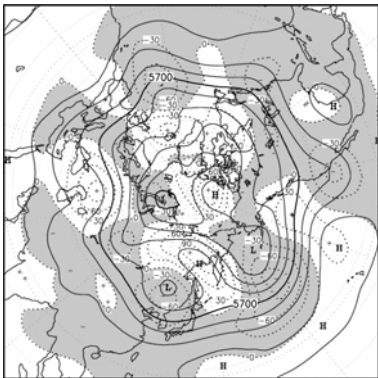
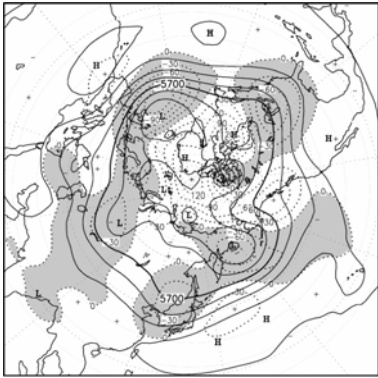
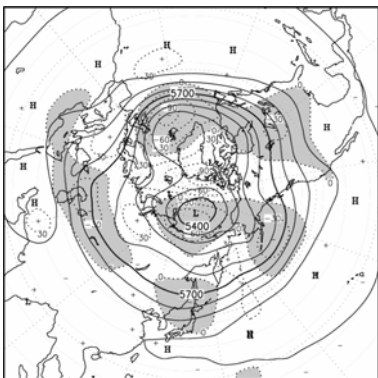


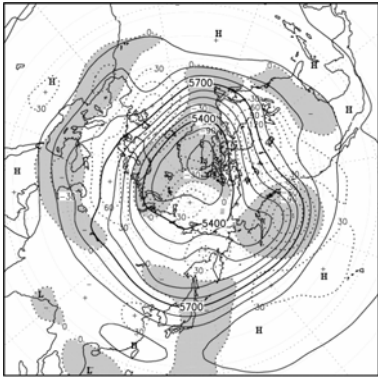
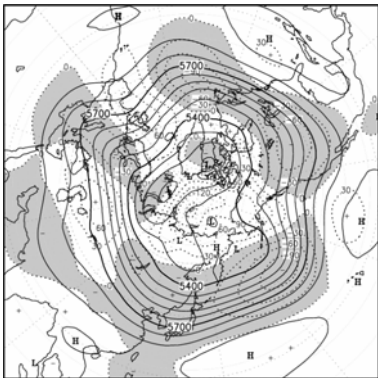
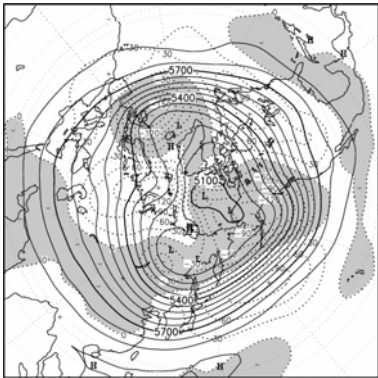
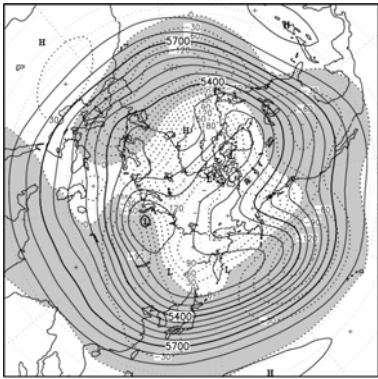
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平均気温平年差()	+0.7	+2.4	+0.9	+0.8	+1.1	+0.5	+0.2	-0.3	-0.1	+0.4	+0.6	+0.7	+0.7
階級	高い	かなり高い	高い	高い	かなり高い	高い	平年並	平年並	平年並	高い	平年並	高い	高い
降水量平年比(%)	220	121	103	84	100	94	113	89	25	142	170	154	101
階級	かなり多い	多い	平年並	少ない	平年並	平年並	多い	平年並	かなり少ない	多い	多い	多い	平年並
日照時間平年比(%)	98	95	105	132	98	107	61	96	125	110	88	99	101
階級	平年並	平年並	平年並	かなり多い	平年並	平年並	かなり少ない	平年並	かなり多い	多い	少ない	平年並	平年並

各月の東海地方の天候と北半球 500hPa の大気の流れ

500hPa高度月平均図は500hPa等気圧面の高度の月平均を60m間隔の実線で、平年偏差を30m間隔の破線で示しています。陰影部は負偏差域を表し、気温が平年より低くなる傾向があります。

	東海地方の天候	500hPa 高度月平均図	大気の流れの特徴
1月	冬型の気圧配置となった時期と気圧の谷や前線の影響を受けやすかった時期とが交互にあり、月の終わりには発達した低気圧の影響で大雨となった所がありました。気温の変動が大きく、冷え込んだ時期もありましたが、下旬はかなり高くなりました。		中緯度帯では偏西風の蛇行が顕著でした。極東域ではカムチャッカ半島付近からの顕著な正偏差域が本州付近を覆いましたが、西日本の一部は東シナ海の負偏差域に覆われました。本州付近は東西流が卓越しました。月の初めを除き寒気の南下は西日本中心で、寒気の南下が弱まった時期もあり、東海地方も寒気の影響を受けた時期はありましたが、下旬は気温がかなり高くなりました。
2月	上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。中旬は天気は周期的に変わり、その後は冬型の気圧配置となった日がありました。下旬は前線や低気圧の影響を受けやすく天気がぐずつきました。気温の高い状態が続きましたが、中旬の後半は一時的に寒気が南下して冷え込んだ日がありました。		高緯度域では、中央シベリアから東シベリア付近は負偏差域となりました。中緯度帯では、ユーラシア大陸ではヨーロッパを除き帯状に正偏差域が広がりました。日本付近は西日本を中心に広く正偏差域に覆われ、本州付近は西北西から東南東への流れとなりました。このため天気は周期的に変わり、また気圧の谷の通過後の寒気の南下は一時的となりました。
3月	月の前半は天気は短い周期で変わり、ぐずついた時期がありました。月の後半は高気圧に覆われて晴れた時期がありましたが、月の終わりは寒気が南下して岐阜県では山間部を中心に雪の降った日がありました。月の中頃まで気温の高い状態が続いた一方で、月の終わりに気温の低い日があり、月の後半は気温の変動が大きくなりました。		極東域では中国東北区から日本海にかけて負偏差となり、一時的に日本付近に寒気が南下したことを示しています。しかし、太平洋東部を中心とする顕著な正偏差域が東シベリアから日本付近まで広がり、日本付近は西から東への流れとなり、平均的には寒気の影響を受けにくく、また月の前半を中心に短い周期で天気が変わりました。
4月	月のはじめと後半は天気が数日の周期で変わり、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日がありましたが、上旬の後半から中旬のはじめにかけて高気圧に覆われて晴れた日が続いて顕著な多照となりました。また、上旬の前半と下旬に低気圧の通過後に強い寒気が南下した影響で気温がかなり低くなった一方で、中旬を中心に気温がかなり高い状態が続いたため、気温の変動が大きくなりました。		中・高緯度域では偏西風の蛇行が明瞭でした。極東域では、中央シベリアから日本海にかけては正偏差となった一方で、東シベリアから日本の東、日本の南、華南付近にかけて負偏差となりました。日本付近は西北西の流れが卓越し、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、本州南岸を低気圧が周期的に通過した時期があったことを示しています。また、東海地方も負偏差となり、月のはじめと終わりに寒気の影響を受けた時期があったことを示しています。

	東海地方の天候	500hPa 高度月平均図	大気の流れの特徴
5月	月の上旬は南岸を通過した低気圧の影響で降水量がかなり多くなりましたが、中旬と下旬は数日の周期で天気が変わり、降水量は平年並となりました。また、寒気の流れ込みは一時的で気温は高くなりました。		中緯度帯では、カナダ及び太平洋東部に負偏差域が広がりましたが、アリューシャン列島付近と中国東北区を中心に顕著な正偏差域が広がりました。日本付近は東西に広がる正偏差域に覆われたため、寒気が流入しても一時的で、気温が高めに推移しました。また、東海地方付近は西南西の流れとなり、降水量は平年並となりました。
6月	梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、特に下旬は前線の活動が活発化したため大雨となった日がありました。中旬に梅雨前線が本州から離れた南海上に停滞したため、高気圧に覆われて晴れた時期がありました。なお、東海地方の梅雨入りは6月3日ごろと見られます。		オホーツク海の顕著な気圧の尾根により、その西側の中国東北区で気圧の谷となって日本にかけて負偏差となり、日本付近に寒気が南下しやすい状態でした。また、日本の南海上は負偏差で、太平洋高気圧の北への張り出しが平年より弱く、梅雨前線が平年より南に位置したことに対応しています。一方、上空に寒気が入ったため大気の状態が不安定となり、雷雨となった日もありました。
7月	梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、特に下旬は前線の活動が活発化したため大雨となった日がありました。中旬に高気圧に覆われて晴れた時期がありました。		中緯度帯は偏西風の蛇行が明瞭となり、中国東北区から沿海州にかけて負偏差となって、日本海も負偏差となり、日本付近は西谷が明瞭でした。一方、日本の東は正偏差となりましたが、太平洋高気圧の日本付近への張り出しは平年より弱く、日本付近が広く太平洋高気圧に覆われる状況にはなりません。このため梅雨前線が本州付近に停滞することが多く、前線活動が活発となったため、寡照となりました。
8月	上旬は上空の寒気や台風第9号の影響で天気がぐずつき大雨となった日もありましたが、中旬から下旬にかけては高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。なお、東海地方の梅雨明けは8月3日ごろとなり、平年よりかなり遅くなりました。東海地方の梅雨明けは、1951年の統計開始以来最も遅くなりました(1993年の特定しない年を除く)。		日本付近では北日本から東日本にかけて弱い負偏差となり、寒気や気圧の谷の影響を受けやすかったことを表しています。西日本以南は正偏差でしたが、亜熱帯高気圧は本州の南に位置して北への張り出しは弱く、本州付近が太平洋高気圧に覆われることが少なくなりました。また、西日本では太平洋高気圧の縁となり、湿った気流が流れ込みやすく、月前半を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

	東海地方の天候	500hPa 高度月平均図	大気の流れの特徴
9月	数日の周期で天気が変わりましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間がかなり多くなりました。また、低気圧の発達が弱く、秋雨前線の活動も弱かったため、顕著な少雨の状態が続きました。東海地方では、地域平均の統計を始めた1946年以降で、9月としては最も降水量が少なくなりました。		極東域では華北を中心に低緯度側では正偏差となった一方で、中国東北区から日本の東にかけて帯状に負偏差域が広がりました。日本付近では、東日本以東で負偏差となって、北西の流れが卓越しました。これは、上旬から中旬にかけて、高気圧に覆われて晴れやすく多照となった一方で顕著な少雨となったことや、寒気が南下して低温となった時期があったことに対応しています。
10月	上旬と下旬に2つの台風の影響を受けて降水量が多くなりましたが、中旬は移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。なお、上旬は台風第18号が東海地方に上陸し、下旬は台風第20号が東海地方に接近しました。日本に台風が上陸したのは2007年9月以来2年ぶりで、10月に上陸したのは2004年以来5年ぶりとなりました。		高緯度域では顕著な正偏差となりました。日本付近では、負偏差域に覆われましたが、偏差は小さく、東海地方では月平均気温が平年より高くなりました。また、日本の南東海上には亜熱帯高気圧があり、この亜熱帯高気圧の縁を回り、2つの台風が本州に接近し、そのうち一つは東海地方に上陸しました。
11月	上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬以降は次々に通過した低気圧や前線の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多くなりました。また、気温の高い時期と寒気の影響を受けた時期が交互にあり、寒暖の変動が大きくなりました。		中緯度帯では偏西風の蛇行が明瞭でした。日本付近は、アリューシャンの南を中心とする正偏差域に東から覆われ、西では中央シベリアから華中にかけて負偏差となり、西谷の流れとなりました。これは、低気圧や前線の影響を受けやすかったことに対応しています。また、日本の南の高度が高く、寒気が入っても長続きしませんでした。
12月	天気は数日の周期で変わりました。月の前半は、低気圧や気圧の谷の通過後に一時的に寒気が南下しても、冬型の気圧配置は長続きしませんでした。月の後半は、冬型の気圧配置となる日が多く、強い寒気が南下して、岐阜県を中心に大雪となる日もあり、その他の地域でも雪の降った所がありました。		高緯度域では広く顕著な正偏差となった一方で、中緯度帯は帯状に負偏差域に覆われ、偏西風の蛇行が明瞭となりました。これは、北極付近の寒気が中緯度帯に南下しやすかったことを示しています。極東域では気圧の谷となって、日本付近は西南西の流れとなり、前半中心に周期的に低気圧や前線の影響を受けやすい場となりました。また、日本付近は負偏差となりましたが偏差は比較的小さく、寒気の影響を受けた時期が限られていたことに対応しています。

各地の月および年の平均気温・降水量・日照時間と平年差・比

平均気温

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
高山	実況()	-0.5	1.6	3.8	10.1	15.9	19.6	22.6	23.4	19.0	12.7	7.2	1.9	11.4
	平年差()	+1.1	+2.9	+1.3	+0.8	+1.2	+0.5	-0.1	-0.3	-0.1	+0.4	+0.9	+0.9	+0.8
岐阜	実況()	5.0	7.1	9.2	15.0	19.8	23.4	26.2	27.1	23.9	18.4	12.8	7.2	16.3
	平年差()	+0.7	+2.4	+1.0	+0.9	+1.2	+0.9	0.0	-0.4	+0.4	+0.7	+0.9	+0.6	+0.8
名古屋	実況()	5.3	7.3	9.5	15.4	19.9	23.3	26.4	27.3	24.1	18.5	12.9	7.6	16.5
	平年差()	+1.0	+2.6	+1.3	+1.3	+1.4	+1.0	+0.4	0.0	+0.7	+0.9	+1.0	+0.9	+1.1
上野	実況()	3.8	5.6	7.4	13.0	18.0	22.0	25.6	25.9	22.1	16.4	10.7	5.9	14.7
	平年差()	+0.8	+2.4	+1.0	+0.8	+1.0	+1.0	+0.7	+0.1	+0.3	+0.8	+0.8	+1.0	+0.9
津	実況()	5.8	7.6	9.1	14.6	19.2	22.9	26.1	26.8	23.6	18.5	13.0	8.3	16.3
	平年差()	+0.7	+2.5	+1.0	+1.0	+1.0	+0.9	+0.2	-0.3	+0.2	+0.8	+0.7	+0.9	+0.8
伊良湖	実況()	6.2	7.9	9.5	14.5	19.3	22.3	25.6	26.5	23.6	18.7	13.6	8.7	16.4
	平年差()	+0.6	+2.2	+0.8	+0.6	+1.1	+0.6	+0.2	-0.2	-0.1	+0.4	+0.6	+0.7	+0.7
浜松	実況()	6.5	8.9	10.1	15.1	19.1	22.1	25.5	26.6	23.7	18.6	14.1	8.8	16.6
	平年差()	+0.7	+2.8	+0.8	+0.7	+0.7	+0.3	+0.2	-0.1	0.0	+0.1	+0.7	+0.5	+0.6
御前崎	実況()	7.2	9.4	10.5	14.8	19.3	21.4	24.3	25.9	23.5	19.3	15.0	9.7	16.7
	平年差()	+0.7	+2.7	+0.8	+0.4	+1.3	+0.2	-0.2	-0.3	-0.3	+0.2	+0.8	+0.7	+0.6
静岡	実況()	7.2	9.7	10.7	15.4	19.7	22.1	26.0	26.7	23.6	19.0	14.4	9.6	17.0
	平年差()	+0.6	+2.7	+0.7	+0.6	+1.1	+0.2	+0.5	-0.1	-0.2	+0.3	+0.6	+0.8	+0.7
三島	実況()	6.2	8.3	10.0	14.8	19.5	22.2	25.9	26.4	22.9	18.0	13.1	8.4	16.3
	平年差()	+0.7	+2.3	+0.9	+0.6	+1.2	+0.5	+0.7	-0.1	-0.3	+0.4	+0.5	+0.8	+0.7
尾鷲	実況()	6.7	9.1	10.4	14.7	18.8	21.8	25.5	25.7	23.0	18.2	13.4	8.8	16.3
	平年差()	+0.5	+2.6	+0.8	+0.3	+0.7	+0.3	+0.4	-0.4	-0.2	+0.1	+0.2	+0.5	+0.4
石廊崎	実況()	8.4	9.9	10.6	15.2	19.1	21.0	23.8	25.3	22.7	19.1	15.3	10.9	16.8
	平年差()	+0.3	+2.0	+0.3	+0.7	+1.1	+0.1	-0.3	-0.5	-0.8	-0.1	+0.3	+0.2	+0.3
網代	実況()	7.5	8.5	10.1	15.1	19.3	21.6	25.1	25.6	22.1	18.3	14.0	9.7	16.4
	平年差()	+0.6	+1.8	+0.9	+1.0	+1.2	+0.6	+0.6	-0.4	-0.7	+0.1	+0.3	+0.3	+0.5
四日市	実況()	4.4	6.4	8.2	13.7	18.3	21.7	25.0	25.6	22.2	17.1	11.8	6.8	15.1
	平年差()	+0.4	+2.1	+0.9	+0.9	+0.8	+0.4	0.0	-0.6	-0.4	+0.5	+0.5	+0.6	+0.5

降水量

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
高山	実況(mm)	101.5	115.5	144.0	77.0	104.5	144.0	520.5	254.5	59.0	107.0	174.0	100.0	1901.5
	平年比(%)	114	116	120	55	78	75	230	151	23	84	177	126	110
岐阜	実況(mm)	98.0	106.5	174.5	161.5	157.5	257.5	303.0	171.5	67.5	163.5	159.0	84.0	1904.0
	平年比(%)	157	128	122	87	76	101	111	100	25	132	168	178	99
名古屋	実況(mm)	109.5	74.0	115.0	125.5	188.0	240.0	254.0	128.0	51.5	211.5	200.5	58.0	1755.5
	平年比(%)	253	115	100	88	121	119	117	91	21	181	252	158	112
上野	実況(mm)	93.5	71.0	105.5	108.0	116.0	157.5	176.0	50.0	25.5	235.0	141.5	34.0	1313.5
	平年比(%)	213	130	110	96	83	74	88	39	14	217	206	92	94
津	実況(mm)	141.0	74.0	103.0	118.5	174.0	165.0	182.0	87.0	25.0	256.0	146.5	52.0	1524.0
	平年比(%)	344	121	94	82	105	77	87	56	9	184	164	151	92
伊良湖	実況(mm)	135.5	64.0	118.0	128.0	209.5	203.0	138.5	126.5	68.0	230.0	193.0	50.5	1664.5
	平年比(%)	262	89	100	90	122	103	89	77	27	151	188	120	102
浜松	実況(mm)	92.5	80.0	138.0	162.0	283.5	317.0	196.5	134.5	70.5	188.5	159.5	52.5	1875.0
	平年比(%)	171	99	94	86	145	132	93	80	27	113	142	105	100
御前崎	実況(mm)	217.0	147.5	140.5	249.5	221.0	312.5	161.0	164.5	81.5	243.5	168.5	74.5	2181.5
	平年比(%)	274	144	83	122	109	118	73	89	31	129	122	119	105
静岡	実況(mm)	129.0	154.5	301.0	176.0	219.5	255.5	395.0	183.5	87.0	196.5	188.0	65.0	2350.5
	平年比(%)	180	151	142	74	99	90	141	75	29	114	142	109	101
三島	実況(mm)	103.5	101.0	125.5	108.5	180.0	184.5	239.0	188.0	83.5	177.5	169.0	77.5	1737.5
	平年比(%)	135	117	78	66	115	83	114	90	33	108	156	142	93
尾鷲	実況(mm)	205.5	125.5	265.0	253.0	273.5	252.5	447.0	471.0	395.0	399.5	371.0	335.0	3793.5
	平年比(%)	212	95	111	74	80	59	107	95	55	111	142	366	97
石廊崎	実況(mm)	177.5	108.5	128.0	134.0	131.5	246.0	221.5	115.5	40.0	208.5	126.0	90.0	1727.0
	平年比(%)	244	122	83	82	75	101	111	69	18	120	108	152	94
網代	実況(mm)	156.5	93.5	123.5	110.0	169.0	242.5	253.5	205.0	60.0	254.5	216.0	84.0	1968.0
	平年比(%)	250	113	82	66	106	100	111	99	23	146	202	183	104
四日市	実況(mm)	124.5	96.5	139.5	176.5	163.0	231.5	264.0	186.5	52.0	259.5	191.5	56.5	1941.5
	平年比(%)	275	148	116	108	86	87	110	130	20	195	212	150	111

日照時間

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
高山	実況(h)	111.4	100.8]	162.7	217.2	170.9	157.3]	76.0	148.5	133.7	134.4	92.3	80.1	1585.3]
	平年比(%)	116	×	105	126	92	112	50	84	112	110	95	87	×
岐阜	実況(h)	152.6	164.0	201.2	249.5	201.1	182.4	83.6	177.3	190.7	193.7	153.3	172.9	2122.3
	平年比(%)	94	101	105	130	98	116	49	89	126	112	98	106	102
名古屋	実況(h)	173.5	161.5	196.4	252.7]	195.0	172.8]	95.3	189.6	182.5	192.3	158.0	180.7	2150.3]
	平年比(%)	102	97	104	134	98	×	59	97	129	116	99	106	×
上野	実況(h)	106.4	115.6	163.4	210.6	162.9	156.0	102.6	174.7	178.1	166.0	99.2	142.4)	1777.9
	平年比(%)	87	101	116	128	92	123	66	96	141	119	78	108	104
津	実況(h)	153.1	165.0	190.9	230.7	189.1	170.0	101.1	188.3	196.6	175.6)	133.7	180.7	2074.8
	平年比(%)	93	107	109	128	99	118	57	93	137	109	86	106	103
伊良湖	実況(h)	168.2	160.5	186.6	244.0	193.2)	175.1	126.4	216.4	182.6)	184.8	143.7	178.6	2160.1
	平年比(%)	91	91	96	127	94	111	63	93	113	110	88	98	97
浜松	実況(h)	196.2	169.3	192.9	247.9	198.3	158.6)	108.1	220.4	183.6	177.8	149.7	184.6	2187.4
	平年比(%)	102	93	103	134	99	110	62	102	119	110	91	95	101
御前崎	実況(h)	199.5	160.2	186.9	254.6	203.0	129.1	101.0	227.6	192.6	168.6	142.5	171.7	2137.3
	平年比(%)	101	87	102	137	99	87	54	99	116	102	87	89	97
静岡	実況(h)	200.6	159.2	186.1	238.1	199.3	128.1	116.2	198.1	171.7	173.6	138.7	186.9	2096.6
	平年比(%)	102	89	107	137	107	100	76	103	122	111	84	96	103
三島	実況(h)	178.9	126.7	166.5	230.8	174.2	132.6	99.9	187.7	177.0	161.6	126.7	170.8	1933.4
	平年比(%)	101	80	106	139	95	108	68	100	128	110	83	97	101
尾鷲	実況(h)	162.2	172.4	201.3	218.9	180.1	152.9	115.9	156.9)	170.9)	152.2	134.0	178.2	1995.9
	平年比(%)	90	103	110	127	103	124	77	93	138	104	90	101	105
石廊崎	実況(h)	182.4	155.3	162.3	239.3	191.4	128.3	82.2	228.2	199.6	162.1	129.8	172.0	2032.9
	平年比(%)	104	95	96	132	97	90	47	100	119	102	83	97	97
網代	実況(h)	138.4	124.7	157.9	223.3	170.2	114.0	101.2	187.6	160.5	141.1	105.5	141.1	1765.5
	平年比(%)	95	91	109	138	91	90	64	97	126	110	82	95	99
四日市	実況(h)	140.6	157.0	183.9	227.4	192.5	160.4	93.1	181.1	184.5	176.5	142.1	173.3	2012.4
	平年比(%)	92	106	101	129	101	108	59	97	130	110	93	111	103

“)”がついた統計値(平均値・合計値)は、観測資料に欠測等が含まれるものの正常な値と同等とみなせる値です。一方“[”がついた統計値は、観測資料に含まれる欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。
数値は後日修正される場合があります。

極値更新表(月および年の平均値・合計値に関する記録)

月	地点名	要素名	値	統計開始	従来の極値
2月	静岡	月平均気温の高い方から	9.7	1940年	9.5 (2007年)
4月	岐阜	月間日照時間の多い方から	249.5h	1890年	249.1h (1947年)
7月	岐阜	月間日照時間の少ない方から	83.6h	1890年	87.6h (1993年)
7月	石廊崎	月間日照時間の少ない方から	82.2h	1939年	87.4h (2003年)
9月	網代	月降水量の少ない方から	60.0mm	1937年	60mm (1968年)
9月	四日市	月降水量の少ない方から	52.0mm	1966年	73.5mm (1969年)
9月	東海地方	月降水量の少ない方から	25%	1946年	26% (1962年)

その他

梅雨

梅雨入り： 6月 3日ごろ 「早い」 (平年：6月 8日ごろ 昨年：5月 28日ごろ)
梅雨明け： 8月 3日ごろ 「かなり遅い」 (平年：7月 20日ごろ 昨年：7月 12日ごろ)

6月上旬は天気为数日の周期で変化し、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなって、3日ごろ梅雨入りとなりました。6月中旬に前線が日本の南海上まで南下し晴れた日が多くなり、日照時間も多くなりましたが、6月下旬から7月にかけては、梅雨前線が日本付近に停滞し、前線活動が活発となりました。7月下旬になっても太平洋高気圧の日本付近への張り出しが弱く、梅雨前線はなかなか北上しなかったため、梅雨明けはかなり遅くなり、8月上旬に高気圧に覆われて晴れて、3日ごろに梅雨明けとなりました。なお、梅雨明けを特定できなかった1993年を除き、1951年以降、最も遅い梅雨明けでした。梅雨期間は61日間で、6～7月の東海地方降水量平年比は「104%」でした。

台風

今年の台風発生数は22個で平年(26.7個)を下回りましたが、10月に台風第18号が日本(知多半島付近)に上陸しました。東海地方への接近数は4個(第9号、第11号、第18号、第20号)と平年を上回りました。

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
今年	発生数					2	2	2	5	7	3	1		22
	上陸数										1			1
	東海接近数								2		2			4
昨年	発生数				1	4	1	2	4	4	2	3	1	22
	上陸数													0
	東海接近数								1	1				2
平年値	発生数	0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
	上陸数	-	-	-	-	-	0.2	0.5	0.9	0.9	0.1	0.0	-	2.6
	東海接近数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.4	0.9	1.0	0.5	0.0	-	2.9